

針路

宮古市少年センター
宮古市市民生活部 市民協働課
宮古市宮町一丁目1番30号
☎0193-62-2111（内線1820）



迎春

本年もどうぞ
宜しく願い申し上げます。



令和7年度 宮古市少年センター

「青少年健全育成研修会」を開催しました。

開催日：令和7年11月11日（火） 15時～16時

開催場所：宮古市民交流センター2階多目的ホール

内容：① 宮古市少年センターの活動状況について

宮古市少年センター 佐藤専任少年委員

② 宮古市内の青少年の実情について

講師：宮古警察署生活安全課 課長 川村 喜直 氏

参加者：少年委員 22名

関係機関・団体等 21名

少年センター職員 5名

合計 48名

宮古警察署生活安全課長 川村氏より、宮古署管内の青少年の実情を説明していただいた。

前年同期比でみると刑法犯中、犯罪少年は2人増加、触法少年は4人減少。特法犯中、犯罪少年は1人減少、触法犯は増減なし。ぐ犯少年については増減なし。不良行為少年は15人減少。と、全体的にみると減少している。しかし、刑法犯少年については小学生ということで低年齢化がみられる。その他、福祉犯が3件、自殺事案2件、行方不明事案1件などがあったという。

今後も引き続き、警察署や保護司会、関係機関や少年センター等の連携を取り合っていきたい。

巡回日誌より

10月7日(火) 18時～ 3班

コース《市民交流センター→宮古駅前→末広町商店街→カラオケ店→大通り商店街→宮古駅前→宮古市役所》

小雨が降る中、巡回した。いつもより市民交流センターには生徒の姿が少なかった。各通りではいつもより一般の方が多く出歩いている様子が見られた。カラオケ店の店長の話では高校生が現在入店しているが、早く帰るよう声掛けをしたとのこと。

11月17日(月) 17時～ 6班

コース《さくら公園駐車場→のぞみ公園→板屋公園→かんばな公園→ジョイス→さくら公園駐車場》

クマの目撃情報があり、各公園、立ち入り禁止のため外周からの巡視となった。クマに注意しながら、いつものコースを回った。

12月12日(金) 17時～ 4班

コース（日の出・佐原コース）

現在、クマの出没が問題となっているが、佐原コースにはクマの通路となっている箇所もあるので、巡回を中止した。せっかく集合したので、駐在所に於いて地域の事件等の説明とオレオレ詐欺のDVDで学習した。

宮古市少年センター

10・11・12月の街頭巡回状況

	実施日数			従事人員 (駐在所・ボランティア含)			指導数		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月
午前	2日	0日	0日	6人	0人	0人	0人	0人	0人
午後	1日	2日	2日	2人	5人	6人	0人	0人	0人
夜間	8日	7日	7日	36人	30人	31人	0人	0人	0人
合計	11日	9日	9日	44人	35人	37人	0人	0人	0人

巡回日、体調が悪いときは無理を
せずお休みください

巡回の際、寒さ対策をしっかり
行い、足元に注意願います！

少年センター事務局 研修会等参加報告

* 第51回 岩手県更生保護研究大会（専任少年委員参加）

開催日時 令和7年10月30日（木）午前10時30分～午後3時30分

開催場所 矢巾町文化会館

○各表彰状授与

○研究発表 主題「関係団体との連携活動について」

発表 紫波地区保護司会・紫波町・矢巾町更生保護女性の会

○講演 演題「ギャンブル依存症からの回復—地域と共に—」

講師 一般社団法人東北グレイス・ロード 田村 仁 氏

講演のお話で、依存症は完治するというのではなく、依存前の平常に回復することができ、その平常を維持する努力が必要であり、維持するために家族や地域とのつながりが大事であるとのこと。

* 令和7年度青少年育成セミナー（専任少年委員参加）

開催日時 令和7年11月28日（金）午後2時～午後3時30分

開催場所 キオクシア アイーナ

○講演 演題『「聴き上手になるために一言のボールの受け止め方—」』

講師 東洋大学社会デザイン学部子ども支援学科

教授 鈴木 崇之 氏

様々な応答技法があることを知った。子どもたちの話したいことをうまく引き出していくことが大切で、表面的な情報の下にある、言葉で表現できないメッセージをくみ取ることが大事であるということ学んだ。

* 令和7年度岩手県少年センター連絡協議会研修会（専任少年委員参加）

開催日時 令和7年12月5日（金）午後1時～午後4時

開催場所 善友乳児院（盛岡市北山）

○善友乳児院の紹介 ○にんしんSOSいわて事業説明

・乳児院とは、児童福祉法第37条に規定された児童福祉施設で、様々な理由で家庭で養育できない乳幼児を24時間365日養育する施設である。

・にんしんSOSいわてに関して、初めてこのような団体があることを知った。

立ち上げのきっかけは岩手県内での乳児遺棄事件（2019年、2021年、2022年）だという。

令和4年8月に相談窓口を開設。思いがけないにんしんで悩んでいる方のために《電話相談》《LINE相談》（火曜日、金曜日、日曜日の（15:00～19:00））、《メール相談》24時間365日で匿名相談を受け付けている。相談以外の支援として同行支援（病院受診、行政の手続きサポート等）と一時的な居場所を提供している。

思いがけない妊娠で悩んでいる方の相談窓口

妊娠したかも… 誰にも相談できない
産んでも育てる自信がない
妊娠したら、相手と連絡が取れなくなった
病院に受診できない

ひとりで抱えていませんか？ 私たちに相談してください

LINE相談 友だち登録はこちら
受付 毎週火・金・日曜日 15:00～19:00

相談は無料です
秘密は守ります
匿名で相談できます

にんしんSOSいわて

匿名OK ご相談はこちら

sos.iwate@zen-yuu.or.jp
受付：24時間365日

019-613-6782
受付：毎週火曜・金曜・日曜日 15:00～19:00

* 令和7年度青少年相談支援研修会（専任少年委員参加）

開催日時 令和7年12月9日（火）午後1時～午後4時

開催場所 キオクシア アイーナ

○ワークショップ「思春期以降のソーシャルスキルトレーニングから学ぶ」

講師（ファシリテーター）公認心理師 臨床心理士

盛岡子ども若者カウンセリングルーム代表 三浦 光子 氏

支援の3層構造モデル

C層（環境調整）

・家庭、学校、職場、仲間関係
・システム、仕組み、法律など
・支援者同士の連携

B層（スキル+理論）

・支援者の持っているスキルと理論
・支援者を支えている「内部資源」
（自分を支える力、支援者支援）

A層（関係づくり+アセスメント）

・安心安全な関係
・アセスメント

・アタッチメント理論 ・トラウマ理論 ・発達特性 ・行動理論 ・社会学的学習理論 ・認知行動療法 ・弁証法的行動理論 ・親子、社会性プログラム ・アセスメント等、エビデンスに基づく支援理論をわかりやすく軽快に伝えていただいた。子どもとよい関係を作るときに使っているスキルが印象に残った。そのスキルとは、1) 避ける3つのK、よく使う3つのP、2) 良い指示の出し方である。

1) ★避ける3つのK⇒コマンド（命令）、クエッション（質問）、クリティシズム（批判）

★たくさん使う3つのP⇒プレイス（具体的にほめる）、パワーズ（くり返す）、ポイントアウト（行動を言葉にする）

2) よい指示 1. 発達や年齢にふさわしく（現実的な範囲で） 2. 丁寧かつ中立的に 3. はっきりと直接的に

4. 肯定文で 5. 簡潔に（1回に1つずつ） 6. 具体的に 7. 適切な場合には、選択肢を提示して 8. 説明は最小限に